

令和7年度 奈良女子大学 健康なら 21Step アップ事業
今年度テーマは、『こころとからだで「つむぐ・スポーツ」』

奈良女子大学では、奈良県ならびに市町村が推進する「健康なら 21 計画」と連携して、身体運動を通じて「健康づくりによる地域の活性化」に貢献することを目的に、幼児から高齢者まで様々な世代を対象とした運動プログラムの開発や、それらの普及にかかわる指導者の育成を課題としています。第 2 回目研修会は、奈良体育学会との共催による公開シンポジウム（公開講座）です。一般の方のご参加も受付けております。**事前申し込み不要ですので、お気軽にご参加ください。**

公開講座 第 2 回フォローアップ研修会

市民マラソンは健康意識の高まりから国内では年間およそ 90 大会が開催されている。しかしながら、コロナ禍以降、地方大会などで定員割れが相次ぎ、物価高を背景に大会運営は厳しさを増している。奈良県では、1981 年に創設された「奈良春日・大仏マラソン全国大会」を、フルマラソンを加えた「奈良マラソン」として 2010 年にリニューアルし、今年で第 16 回大会を迎える。

奈良マラソンは、単なる市民マラソン大会にとどまらず、市民の健康づくりやボランティア活動による市民参画と地域の交流、観光振興・経済効果といった多面的な役割を担ってきた。すなわち奈良マラソンは歴史文化都市における大規模イベントとして、運営の実務と社会的インパクトの両面で注目されてきた。本シンポジウムでは、奈良マラソンの事務局を支えてきた 3 名のキーパーソンにご登壇いただき、運営の実際と課題、そして今後の展望について語っていただく。特に「ボランティア体制」「コロナ禍を経た運営の知見」「地域に根ざす仕組みづくり」を柱に議論を深める。

2025年11月15日(土) 午後(時間未定)

受付:シンポジウム開始時間の 30 分前～ 奈良女子大学 N 棟 302 教室

開始時間は後日、奈良体育学会 HP(<https://nspehss.org/>)に掲載されます。

テーマ:

「奈良マラソンの歩みと未来 - 市民スポーツイベントの持続可能な運営を考える」

シンポジスト:

林 潤 (奈良マラソンレースディレクター・事務局次長、飛鳥ハーフマラソン レースディレクター)

鷹田 やゆり (奈良マラソン現事務局長)

野田 康彦 (奈良マラソン元事務局長・現奈良県産業創造課長)

司会: 高橋 豪仁 (奈良教育大学)、笠次 良爾 (奈良教育大学)

当日は、生協食堂はお休みです。次回、第3回研修会は、2月14日(土)13時(予定)です。

奈良女子大学地域貢献事業「健康なら 21Step アップ事業」

奈良女子大学 生活環境学部 心身健康学科 スポーツ健康科学コース

問い合わせ先 藤原素子: motoko@cc.nara-wu.ac.jp 電話ファックス 0742-20-3349

平塚卓也: thiratsuka@cc.nara-wu.ac.jp 電話 0742-20-3302